

7

日本銀行參與會制度ニ關スル調査參考資料

本業ヲ振出スル利以テリ
 マ 採密ナリシムル故日本銀行ニ日本銀行參與會ヲ組織スルノ要アリ是レ
 日本銀行ノ行務ノ進展マシメテ一徹強宜ニ願ハシムル且開行ノ結果イノ際
 由 著

大 蔵 省

(附 表 2.0)

0000 0244

目次

一、主要國中央銀行諮問又ハ評議機關ノ組織竝ニ權能……………一

二、日本銀行條例……………三

三、日本銀行定款……………九

一、主要國中央銀行諮問又ハ評議機關ノ組織並ニ權能

國名	機關ノ名稱	組	織	權	能
米 國	聯邦諮問委員會 Federal Advisory Council	十二名 各聯邦準備銀行ニ於テ毎年一名宛選任ス 年四回定例會議(於華府) 必要アル場合ニハ隨時開會 委員ノ過半数ヲ以テ定足數トス		純然タル諮問機關トス (一) 一般經濟上ノ狀況ニ關シ直接ニ準備局ト評議スルコト (二) 準備局ノ權限ニ屬スル事項ニ關シ建議スルコト (三) 割引歩合、再割引事務、紙幣發行、各管區ニ於ケル準備狀況、準備銀行ノ金又ハ證券ノ賣買若ハ一般市場取引、其他準備制度ニ關スル一般的事項ニ付報告ヲ徵シ又ハ提議スルコト	
佛 國	割引評議會 Council d' Escompte	十二名 銀行總會カ巴里ニ於テ現ニ商業ヲ營メル十株以上ノ株主中ニシテ被選人員ニ三倍セル候補者表中ヨリ監事之ヲ選任シ毎年四分ノ一ツツ改選スルモノトス 每週少クトモ三回開會 委員ハ名譽職ニシテ出席手當金ノ外ハ無給トス		(二)(一) 信用授與ノ相手方ノ名簿ヲ作成ス 四人宛十五日毎ニ交替シテ割引委員會ニ出席シ完全ナル議決權ヲ以テ其ノ評議ニ參與ス (註) 割引委員會ハ總裁(委員長トナル)副總裁二名、理事五名、割引評議會會員四名ヨリ成リ、依頼ノ割引手形ヲ調査シ、ソノ拒諾ヲ決ス、委員會ノ決定ハ總裁ノ承認ヲ經ルニ非レハ實施サレス	

獨逸	中央委員會 Zentralausschuss	二十一名ノ委員及同數ノ代理委員 理事會ノ提案ニ基キ總會ニ於テ之ヲ選舉ス、 銀行業、工業、商業、農業、手工業ニ従事スルモ ノ又ハ勞働者ニシテ三十箇以上ノ獨逸國籍ヲ 有スル持分所有者タルコトヲ要ス且其ノ内少 クトモ十二人ハ伯林又ハ其ノ近郊ニ住所ヲ有 スルコトヲ要ス 毎年三分ノ一宛更代ス 無給 常置機關ナリ 十名(内一名ハ總裁之ニ當ル) 監事ハ獨逸國籍ヲ有スル者タルコトヲ要ス 總裁以外ノ監事ノ選舉ハ獨逸國籍ヲ有スル持 分所有者ノ確認ヲ條件トシテ、現任監事ガ補 缺選舉ノ方法ニ依リ之ヲ行フ 任期ハ總裁ヲ除クノ外三年トス	持分所有者ヲ代表スル純然タル諮問機關 (一) 銀行ハ必要ニ應シテ其ノ意見ヲ徵スルコト ヲ得 (二) 特別問題ニ關シ理事會ノ諮問ニ答フル目的 ヲ以テ中央委員會代表委員ヲ選任ス。 理事會ハ斯ル諮問ノ必要アル場合ニハ右代 表委員ヲ其ノ會議ニ招致ス
和蘭	顧問委員會 Adviesory com- mittee	五名 監事會ノ推薦セル二倍ノ候補者中ヨリ株主之 ヲ選舉ス 任期五年毎年一名宛更代直ニ再選ヲ許サス	(一) 會議毎ニ又少クトモ四半期ニ一回ハ總裁ノ 提出スル報告ヲ審査ス (二) 總裁ノ提出ニ係ル凡テノ議案ヲ議決ス、但 理事會ニ屬スル銀行管理權ヲ侵スコトヲ得 ス。 一定ノ時期ニ於テ重役會ト會合シ重役及監事ノ 連合集會ニヨリテ規定セラレタル内規ニ從ツテ 協議スルコトヲ要スル重要事項ヲ協議ス。右内 規ハ國王ノ裁可ヲ要ス。 右協議セル事項ニ付重役ト意見ヲ相違セルトキ ハ直ニ監事會ニ通知ス。

二、日本銀行條例

明治十五年六月二十七日
太政官布告第三十二號

第一條 日本銀行ハ有限責任トシ本行ノ負債辨償ノ爲メ株主ノ負擔スヘキ義務ハ株金ニ止マルモノトス

第二條 日本銀行ハ本店ヲ東京ニ置クヘシ各府縣ノ首邑其他要用ナル地方ニ支店出張所ヲ設置シ又ハ他ノ銀行ト「コレレスボンデンス」ヲ締約スルコトヲ得但支店出張所ヲ設置シ又ハ他ノ銀行ト「コレレスボンデンス」ヲ締約スルトキハ其事由ヲ大藏卿ニ具狀シテ其許可ヲ受クヘシ又大藏卿ニ於テ支店出張所ヲ要用ナリトスルトキハ銀行ニ命シテ之ヲ設置セシムルコトアルヘシ

第三條 日本銀行ノ營業年限ハ開業ノ日ヨリ滿三十年トス但株主總會ノ決議ニ依リ營業ノ延期ヲ請願スルコトヲ得

第四條 日本銀行ノ資本金ハ壹千萬圓ト定メ之ヲ五萬株ニ分チ一株貳百圓トス但株主總會ノ決議ニ依リ資本金ノ増加ヲ請願スルコトヲ得

第五條 日本銀行ノ株券ハ總テ記名券トナシ日本人ノ外賣買讓與スルヲ許サ

ス

第六條 日本銀行ノ株主トナラントスルモノハ大藏卿ノ許可ヲ受クヘシ

第七條 資本金總額五分ノ一即チ貳百萬圓ノ入金アル時ハ營業ヲ開始スルヲ

得ヘシ但資本金募集ノ手續ハ定款ヲ以テ定ムルモノトス

第八條 營業上ニ於テ損失ヲ生シ資本現入金額ノ内幾分ヲ減少シタル時ハ其

事由ヲ審明シ資本金殘額ヨリ其缺額ニ充ル迄ノ金額ヲ追募スヘシ

第九條 事業ノ伸張ニ由リ資本金ノ増加ヲ要スル時ハ之ヲ資本金殘額ヨ

リ追募スヘシ

第十條 純益金總額ヨリ株主割賦金ヲ引去リ其殘額ヨリ少クモ十分ノ一ヲ左

ノ目的ヲ以テ積立金ト爲スヘシ

第一 資本金ノ損失ヲ補フ

第二 割賦金ノ不足ヲ補フ

第十一條 日本銀行ノ營業ハ左ノ如シ

第一 政府發行ノ手形爲換手形其他商業手形等ノ割引ヲ爲シ又ハ買入ヲ爲

ス事

第二 地金銀ノ賣買ヲ爲ス事

第三 金銀貨或ハ地金銀ヲ抵當トシテ貸金ヲ爲ス事

第四 豫テ取引約定アル諸會社銀行又ハ商人ノ爲メニ手形金ノ取立ヲナス

事

第五 諸預リ勘定ヲ爲シ又ハ金銀貨貴金屬並諸證券類ノ保護預リヲ爲ス事

第六 公債證書政府發行ノ手形其他政府ノ保證ニ係ル各種ノ證券ヲ抵當ト

シテ當座勘定貸又ハ定期貸ヲ爲ス事但其金額及ヒ利子ノ割合ハ總裁

副總裁理事監事ニ於テ時々決議シ大藏卿ノ許可ヲ受クヘシ

第十二條 日本銀行ハ第十一條ニ記載スル事業ノ外左ニ掲クル件々ハ勿論其

他諸般ノ營業ニ關涉スルコトヲ得ス

第一 不動産及ヒ銀行又ハ諸會社ノ株券ヲ抵當トシテ貸金ヲ爲ス事

第二 本銀行ノ株券ニ對シテ貸金ヲナシ又ハ此株券ノ買戻ヲ爲ス事

第三 諸工業會社ノ株主タルハ勿論直接間接ヲ問ハス工業ニ關係スル事

五

四

第四 本支店出張所ヲ開設スル爲メ必要ナル者ノ外一切他ノ不動産ノ所有主タル事

第十三條 政府ノ都合ニ依リ日本銀行ヲシテ國庫金ノ取扱ヒニ從事セシムヘシ

第十四條 日本銀行ハ兌換銀行券ヲ發行スルノ權ヲ有ス但此銀行券ヲ發行セシムル時ハ別段ノ規則ヲ制定シ更ニ頒布スルモノトス

第十五條 日本銀行ハ諸手形及ヒ切手ヲ發行スルヲ得ヘシ

第十六條 日本銀行ハ公債證書ヲ買入レ又ハ之ヲ賣拂フコトヲ得ヘシ但此場合ニ於テハ大藏卿ノ許可ヲ受クヘキモノトス

第十七條 日本銀行ハ總裁一人副總裁一人理事四人ヲ以テ綜理スルモノトス此外ニ監事三人乃至五人ヲ置クヘシ

第十八條 總裁副總裁ハ任期五箇年トシ總裁ハ勅任副總裁ハ奏任トス但任期中ハ他ノ官職ヲ兼任スルヲ得ス

第十九條 理事ハ株主總會ニ於テ選舉シ大藏大臣之ヲ命シ監事ハ株主總會ニ

於テ之ヲ選舉ス

理事ノ任期ハ四年トシ監事ノ任期ハ三年トス

理事監事ハ任期中他ノ銀行又ハ會社等ノ役員タルヲ許サス

第二十條 總裁ハ每半期ニ通常株主總會ヲ招集ス

總裁ハ臨時ノ事項ヲ議スル爲メ必要ト認ムルトキハ臨時株主總會ヲ招集ス

總裁ハ監事ノ全員又ハ株主總會ノ會員タル者五十名以上ヨリ會議ノ目的ヲ

示シテ請求スルトキハ臨時株主總會ヲ招集セサルコトヲ得ス

株主總會ノ會員ハ開會ノ六十日前ヨリ引續キ十株以上ヲ所有スル者ニ限ル

株主總會ニ於テハ會員ニ代理ヲ委託スルノ外他人ヲ以テ代理人トナスコト

ヲ得ス

株主總會ノ會員ハ株數十箇ニ付投票一箇ノ權利ヲ有ス十一株以上ハ五十株

毎ニ一箇ノ投票權ヲ増加ス但他人ノ代理委託ヲ受クル者ハ其代理ニ屬スル

權利八十箇以上ヲ超ユルコトヲ得ス

第二十一條 大藏卿ハ特ニ監理官ヲ日本銀行ニ派出シテ諸般ノ事務ヲ監視セ

シムヘシ

第二十二條 日本銀行ハ本支店出張所及ヒ約定店等ノ營業上百般ノ景況ヲ調査シ少クモ毎月一回之ヲ大藏卿ヘ報告スヘシ

第二十三條 日本銀行ハ本條例ノ旨趣ニ基キ銀行定款ヲ作り政府ノ許可ヲ受クヘシ但定款ヲ改正シ又ハ定款外ノ事件ヲ處スル時ハ株主總會ニ於テ決議シ政府ノ許可ヲ受クヘシ

第二十四條 政府ハ日本銀行諸般ノ業務ヲ監督シ其營業上條例定款ニ背戾スル事ハ勿論政府ニ於テ不利ト認ムル事件ハ之ヲ制止スヘシ

第二十五條 此條例ヲ改正増削スル時ハ其施行ノ日ヨリ三箇月以前ニ之ヲ布告スヘシ

三、日本銀行定款

第一章 日本銀行組織ノ事

第一條 日本銀行ハ有限責任トシ本行ノ負債辨償ノ爲メ株主ノ負擔スヘキ義務ハ株金ニ止ルモノトス

第二條 日本銀行ハ本店ヲ東京ニ置クヘシ又各府縣ノ首邑其他要用ナル地方ニ支店出張所ヲ設置シ又ハ他ノ銀行ト「コレレスボンデンス」ヲ締約スルヲ得ヘシ但支店出張所ヲ設置シ又ハ他ノ銀行ト「コレレスボンデンス」ヲ締約スルトキハ其事由ヲ大藏卿ニ具狀シテ其許可ヲ受クヘシ又大藏卿ニ於テ支店出張所ヲ要用ナリトスルトキハ銀行ニ命シテ之ヲ設置セシムルコトアルヘシ

第三條 支店及出張所ヲ設置シ又ハ他ノ銀行ト「コレレスボンデンス」ヲ締約スルノ規則ハ銀行重役ニ於テ決議シ大藏卿ノ許可ヲ受クヘシ

第四條 日本銀行ノ營業年限ハ條例第三條ニ據リ明治四十五年十月十日ヨリ滿三十年トス但株主總會ノ決議ニ依リ營業ヲ繼續セントスルトキハ其延期

ヲ請願シ更ニ政府ノ許可ヲ受クヘシ

第五條 日本銀行ノ實際報告ニ於テ資本金半額以上ヲ損失セシ旨ヲ證明スルトキハ鎖店スル者トス

前項ノ場合ヲ除クノ外期限内ニ鎖店セントスルトキハ株主總會ノ出席員四分ノ三以上ニシテ總株半數以上ヲ所有スル者ノ決議ヲ經テ政府ノ許可ヲ受クヘシ

第六條 日本銀行ハ期內ト滿期トヲ問ハス前條ノ場合ニ在ツテ鎖店スルトキハ株主總會ニ於テ鎖店處分人ヲ撰定シ其權限職制ヲ定メテ政府ノ許可ヲ受クヘシ

第二章 資本金及ヒ積立金ノ事

第七條 日本銀行ノ資本金ハ六千萬圓ト定メ之ヲ參拾萬株ニ分チ一株貳百圓トス但政府ノ命令ニ依リ資本金ヲ増加シ若クハ株主總會ノ決議ニ依リ政府ノ許可ヲ經ルニ於テハ資本金ヲ増加スルコトヲ得

第八條 日本銀行ノ資本金半額迄ハ政府ニ於テ引受ケ之カ株主タルヲ得ヘシ

第九條 資本金總額五分一即チ貳百萬圓(一株ニ付四拾圓ノ割)ハ必ス開業五日前迄ニ入金

スヘシ

右資本金ノ割合及ヒ期限ハ左ノ如シ

第一回 金四拾圓(二付株)

但明治十五年九月十五日ヨリ同三十日迄入金ノ事

第二回 金貳拾圓(二付株)

但明治十六年五月十五日ヨリ同三十一日迄入金ノ事

第三回 金貳拾圓(二付株)

但明治十六年十一月一日ヨリ同十五日迄入金ノ事

第四回 金貳拾圓(二付株)

但明治十七年五月十五日ヨリ同三十一日迄入金ノ事

百圓拂込後ノ拂込ハ銀行ノ都合ニ依リ募集スヘシ但其拂込金額ハ一回毎ニ一株ニ付貳拾圓ヨリ少カラス五拾圓ヨリ多カラサルモノトス其拂込期日ハ二箇月以前ニ新聞紙又ハ其他ノ手續ヲ以テ廣告スヘシ

第十條 營業上ニ於テ損失ヲ生シ資本現入金額ノ内幾分ヲ減少シタルトキハ其事由ヲ審明シ資本入金殘額ヨリ其欠額ニ充ル迄ノ金額ヲ追募スヘシ

第十一條 事業ノ伸張ニ依リ資本入金ノ増加ヲ要スル時ハ之ヲ資本入金殘額ヨリ追募スヘシ

第十二條 株主若シ資本入金ノ日限ニ入金セサル時ハ過怠金トシテ追募金十分ノ一ヲ増納セシムヘシ若シ又二箇月ヲ經テ猶入金セサルトキハ其株券ヲ賣拂ヒ其代金ヨリ追募金額過怠金竝其賣拂ニ係ル費用ヲ差引キ餘贏アレハ原株主ニ還付シ不足ハ尙ホ之ヲ追徵スヘシ

第十三條 株券ハ總テ記名トシ日本人ノ外賣買讓與スルヲ許サス

第十四條 日本銀行ノ株主タラントスル者ハ大藏卿ノ許可ヲ受クヘシ

第十五條 株券ハ銀行ニ於テ株式牒ヲ設ケテ之ニ記入スヘシ若シ株券ヲ賣買又ハ讓與セントスルトキハ賣方ヨリ書面ヲ以テ其旨ヲ銀行ニ請求シ銀行ハ大藏卿ノ許可ヲ經テ之ヲ當人ニ通報スヘシ此通報ヲ受ケタル上賣買又ハ讓與ノ證書ヲ作り雙方連印ヲ爲シ株券ヲ添ヘテ銀行ニ差出スヘシ而シテ銀行

ニテハ之ヲ牒簿ニ記入シ且ツ其賣買讓與ヲ證スル爲メ總裁及ヒ文書局長株式局長其株券ノ裏面ニ署名捺印スルモノトス

株券ハ一株一通、五株一通、十株一通、百株一通、千株一通ノ五種トナシ株主ノ選擇スル種類ヲ交付ス但株主ハ規定ノ手数料ヲ支拂ヒテ株券ノ種類變更ヲ請求スルコトヲ得

第十六條 株主ハ銀行ノ資産ヲ共有シ割賦金ヲ受取ル爲メ其所有株ノ多寡ヲ問ハス毎株ニ付各一箇平等ノ權利ヲ有スル者トス

第十七條 日本銀行ノ株主タル者ハ本行ノ定款及ヒ株主總會ニ於テ決議スル所ノ事件ヲ遵守スヘシ

第十八條 凡株式ニ屬スル權利義務ハ其株券(何人ノ所有タルヲ問ハス)ニ附從スルモノトス

第十九條 純益金總額ヨリ第三十六條ノ株主割賦金ヲ引去リ其殘額ヨリ少クトモ十分ノ一ヲ左ノ目的ヲ以テ積立金ト爲スヘシ

第一 資本金ノ損失ヲ補フ

第二 割賦金第三十六條ノ割合ニ及ハサル時之ヲ補フ

第二十條 前條第十九條ニ記載セル積立金ハ金銀貨地金銀及公債證書ノ買入ニ使用スヘシ但此積立金ヨリ生スル所得金額ハ銀行ノ總益金ニ算入スヘシ

第三章 銀行營業ノ事

第二十一條 日本銀行ノ營業ハ左ノ如シ

第一 政府發行ノ手形爲換手形其他商業手形等ノ割引ヲ爲シ又ハ買入ヲ爲ス事

第二 地金銀ノ賣買ヲ爲ス事

第三 金銀貨或ハ地金銀ヲ抵當トシテ貸金ヲ爲ス事

第四 豫テ取引約定アル諸會社銀行又ハ商人ノ爲メニ手形金ノ取立ヲ爲ス事

第五 諸預リ勘定ヲ爲シ又ハ金銀貨貴金屬並諸證券類ノ保護預リヲ爲ス事

第六 公債證書政府發行ノ手形其他政府ノ保證ニ係ル各種ノ證券ヲ抵當トシテ當座勘定貸又ハ定期貸ヲ爲ス事

第二十二條 日本銀行ハ前第二十一條ニ記載スル事業ノ外左ニ掲クル件々ハ

勿論其他諸般ノ營業ニ關涉スルヲ得ス

第一 不動産及ヒ銀行又ハ諸會社ノ株券ヲ抵當トシテ貸金ヲ爲ス事

第二 本銀行ノ株券ニ對シテ貸金ヲ爲シ又ハ此株券ノ買戻ヲ爲ス事

第三 諸工業會社ノ株主タルハ勿論直接間接ヲ問ハス工業ニ關係スル事

第四 本支店出張所ヲ開設スル爲メ必要ナル者ノ外一切他ノ不動産ノ所有主タル事

第二十三條 日本銀行ニ於テ割引ヲ爲ス商業手形ハ總テ裏書ヲ以テ授受ヲ爲シ印稅規則ニ依テ印紙ヲ貼シ資産確實ナル者二名以上ノ裏書アリテ且ツ仕拂期限ノ百日以内ニ在ル者ニ限ルヘシ但シ銀行總會ノ決議ヲ經大藏卿ノ許可ヲ得タル格段ノ約束アルモノハ一人ノ裏書ニテモ割引ヲ許スコトアルヘシ

第二十四條 割引依頼人ヨリ其手形金額ニ匹適スル商品又ハ商品預證書ヲ質入シタルトキハ之ヲ一人前ノ署名捺印ト見做シ割引ヲ許スコトアルヘシ

第二十五條 政府發行手形ノ割引ハ仕拂期限及割引ノ歩合共時々大藏卿ニ稟

議シ重役集會ニ於テ決定スルモノトス

第二十六條 手形割引ノ歩合ハ毎月重役集會ニ於テ決定シ支店出張所ニ於テハ本店ヨリ時々指定スル所ノ歩合ニ從フヘシ但シ此歩合ハ重役集會ニ於テ必要ト認ムルトキハ何時ニテモ之ヲ變更スルヲ得ヘシ

第二十七條 政府發行手形ノ割引ニ充ツル金額及公債證書其他政府ノ保證ニ係ル證券ヲ抵當トシテ貸出スヘキ金額竝ニ利子ノ割合ハ毎十日重役集會ニ於テ決議シ監事集會承諾ノ上大藏卿ノ許可ヲ受クヘシ

第二十八條 前第二十七條ノ貸附ハ銀行ニテ資産確實ト認ムル者ニ限ルヘク且ツ其期限ハ永クトモ六箇月ヲ超過スヘカラス而シテ其貸附金ハ當日證券ノ相場ニ對シ十分ノ八ヲ限リト爲スヘシ

負債主若シ期限ニ於テ返金セサルトキハ其抵當品ヲ賣拂ヒ元利差引キ贏餘アルトキハ之ヲ本人ニ還付シ不足ハ之ヲ追徴スヘシ但期限ニ於テ書換延期ヲ請フトキハ一回限り許スコトアルヘシ尤モ銀行總會ニ於テ格段ナル許可ヲ與ヘタルモノハ此限ニ在ラス

第二十九條 日本銀行ハ公債證書竝政府發行手形ヲ買入又ハ之ヲ賣拂フコト

ヲ得ヘシ此場合ニ於テハ重役集會ノ決議ヲ以テ監事集會ノ承諾ヲ受ケ大藏卿ノ許可ヲ經ルニ非サレハ施行スルヲ得ス但其許可ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ實施ヲ爲サ、ルトキハ其許可ハ無効タルヘシ

第三十條 日本銀行ハ兌換銀行券ヲ發行スルノ權ヲ有ス但條例第十四條ニ據リ政府ヨリ別段ノ規則ヲ頒布セラル、ノ後ニ非サレハ之ヲ實施スルヲ得ス

第三十一條 日本銀行ハ送金手形振出手形及振換切手ヲ發行スルヲ得ヘシ

第三十二條 日本銀行ハ政府ノ都合ニ由リ國庫金ノ取扱ヒニ從事スルヲ得ヘシ

第三十三條 貸金ノ返辨手形ノ仕拂等不安全ト思惟スルカ又ハ現ニ滞貸或ハ不渡トナリタル時ハ負債者所有ノ家屋土地其他ノ財産ヲ銀行ニ引取ルコトヲ得ヘシ但此家屋土地其他ノ財産トモ爾後一箇年以内ニ賣拂ヲ爲スヘシ然レトモ大藏卿ノ許可ヲ受クルモノハ此ノ限ニアラス

第四章 實際報告及利益金分配ノ事

第三十四條 重役集會ニテ毎年六月三十日十二月三十一日ニ於テ營業上實際ノ報告ヲ整理シ二十日以内ニ之ヲ監事集會ニ付シ監事集會ハ此報告ヲ受ケタル日ヨリ更ニ二十日以内ニ於テ之カ調査ヲ爲スヘシ尤モ監事集會ノ多數ヲ以テ可決スル時ハ直チニ確定シタル者トス若シ其多數ヲ得サルトキハ株主總會ノ決議ニ付スヘシ

第三十五條 創業費營業費其他ノ諸費用ハ每半季決算ノ總益金ヨリ引除キ其殘額ヲ以テ純益金ト爲スヘシ但創業費ハ遞減法ヲ以テ支消スルモノトス

第三十六條 純益金ハ左ノ割合ヲ以テ分配スヘシ

第一 總株金現拂込高ニ對シ年六分ノ割合ヲ以テ配當スヘシ

第二 右配當金ヲ引去リ其殘額ヨリ少クトモ十分ノ一ヲ積立金ト爲スヘシ

第三 右同殘額ノ十分ノ一迄ヲ役員賞與金並交際費トシテ引去ルヘシ但其割合ハ内規ヲ以テ定ムルモノトス

右三項ヲ差引キ其殘額ハ總株へ配當スヘシ尤其割合ハ時々大藏大臣ノ許可ヲ受クヘシ

第三十七條 上半季ノ割賦金ハ其年八月三十日迄ニ下半季ノ割賦金ハ翌年二月二十八日迄ニ各株主へ分配スル者トス

第三十八條 此割賦金第三十六條ノ割合ニ及ハサルトキハ積立金ノ内ヨリ補フ者トス然レトモ次ノ半季ニ於テ此割合ヲ超ル時ハ前半季ニ補ヒシ積立金ノ欠額ヲ補填スヘシ

第三十九條 上下兩半季ノ實際報告並損益勘定ハ大藏卿へ申牒シ且ツ新聞紙ヲ以テ廣告スヘシ下半季ノ實際報告並損益勘定ニハ其年度營業上ノ重役報告並ニ監事報告ヲ付シ翌年二月ノ定式株主總會ヨリ凡五日前ニ各株主へ配賦スヘシ

第四十條 銀行重役ハ本支店及出張所約定店等ノ營業上百般ノ景況ヲ取調ヘ毎月一回ヨリ少ナカラス之ヲ大藏卿ニ報告スヘシ

第五章 行務綜理ノ事

第一節 職員ノ組織

第四十一條 日本銀行ハ總裁一人副總裁一人理事四人ヲ以テ事務ヲ綜理スル

モノトス而シテ總裁副總裁理事ノ集會ヲ名ケテ重役集會ト言フ
此銀行ノ事務監督ノ爲メ監事三人乃至五人ヲ置キ其集會ヲ名ケテ監事集會ト言フ

又割引手形審査ノ爲メ割引委員ヲ置クヘシ

第四十二條 總裁ハ勅任副總裁ハ奏任トシ共ニ任期五年トス但滿期後幾回ニテモ任命スルヲ得ヘシ尤モ任期中ハ他ノ官職ヲ兼任スルヲ得ス

第四十三條 總裁副總裁ハ東京府内ニ住居スヘシ

第四十四條 總裁副總裁ノ俸給及交際費ハ政府ニ於テ定メ銀行ヨリ支辨スルモノトス

第四十五條 理事ハ任期四年トシ株主總會ニ於テ被撰者二倍ノ候補ヲ撰舉シ大藏卿其内ヨリ任命スル者トス但創立第一回ハ五年ノ任期ヲ以テ大藏卿ヨリ特命スヘシ若シ任期内ニ於テ缺員アルトキハ大藏卿ヨリ補闕員ヲ命シテ其殘期丈ケヲ勤メシムヘシ

第四十六條 理事ハ滿期後幾回ニテモ撰任セラル、ヲ得ヘシ

理事ハ必ス東京府内ニ住居スヘシ

第四十七條 毎年一月一日ニ於テ理事一名ヲ更代セシムヘシ但更代ノ順序ハ明治二十一年八月ノ株主總會ニ於テ抽籤ヲ以テ之ヲ定メ其翌年ヨリ此順序ヲ逐フテ毎年更代スルモノトス

死去或ハ不時ノ退職者アリテ其補闕ニ撰任セラレタル者ハ前任者ノ殘期丈ケヲ勤ムル者トス

第四十八條 總裁副總裁及ヒ理事監事ハ任期中他ノ銀行又ハ會社等ノ役員タルヲ許サス

第四十九條 監事集會ハ會員中ヨリ會長一名ヲ撰舉スヘシ

第五十條 監事ハ任期三年トシ株主總會ニ於テ撰舉スル者トス但滿期後幾回ニテモ撰任スルヲ得ヘシ滿期ノ監事ハ毎年二月ノ株主總會ヲ畢リテ更代スヘシ

死去又ハ不時ノ退職者アリテ其補缺ニ撰舉セラレタル者ハ前任者ノ殘期丈ヲ勤ムルモノトス

第五十一條 理事ハ百株以上監事ハ四十株以上ヲ所有スルニアラサレハ此撰ニ當ルヲ得ス

此株券ハ理事監事事務取扱ノ保證金トシテ銀行ニ預ケ置クヘシ本人退職スト雖トモ其年度ノ實際報告ヲ監事集會ノ可決シタル後ニ非サレハ其株券ヲ受戻スコトヲ得ス

第五十二條 總裁副總裁理事監事ハ銀行ノ營業上他人ト約束スル事件ニ就テハ一個人ノ義務ナキモノトス

第五十三條 第三十六條第三項ニ定メタル割合ヲ以テ半季利益金ヲ配當スルニ理事ハ一名ニ付五千圓監事ハ一名ニ付貳千圓ヲ超過スル時ハ株主總會ニ於テ其配當金ヲ此額迄ニ減少スルヲ得ヘシ

第二節 總裁副總裁

第五十四條 總裁ハ重役集會、銀行總會及ヒ株主總會ノ議長タルヘシ

總裁ハ此等ノ會議ニ於テ決議セシ事件ヲ施行スルモノトス

總裁ハ重役集會ニ於テ諸勘定書ヲ整理セシメ之ヲ株主總會ニ付スヘシ

總裁ハ銀行全般ノ事業ニ注目シ條例定款及内規等ノ諸則ヲ恪守セシムヘシ
銀行營業ニ關スル訴訟ハ總裁ノ名ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

總裁ハ重役集會ノ決議ヲ以テ約定書和解書其他一般ノ書類ニ署名捺印スヘシ

日常細事ニ關スル書類ヲ除クノ外營業上ノ證文其他ノ書類ニハ必ス文書局長ノ副印ヲ要スル者トス

第五十五條 總裁ハ重役集會ニ於テ決議セシ事件ヲ不當ナリト認ムル時ハ速ニ銀行總會ヲ開キ其意見ヲ諮詢スルヲ得ヘシ

各會議ニ於テ決議シタル事件ト雖モ條例定款ニ牴觸スルコトハ勿論政府ノ不利ト認ムル時ハ總裁直チニ之ヲ停止シ政府へ申告スヘシ若シ三十日以内ニ政府ヨリ別ニ指令ナキ時ハ原決議ノ通り施行スヘキ者トス

第五十六條 總裁事故アルトキハ副總裁代理スヘシ

第五十七條 總裁ハ日常ノ細事ヲ處辨スル爲メ其事件ヲ定メ理事ヲシテ代理セシムルヲ得ヘシ

第三節 重役集會

二四

第五十八條 重役集會ハ銀行諸般ノ事務ヲ決議スルモノトス但他ノ集會ニ於テ決議スヘキノ成規アルモノハ此限ニアラス

此集會ハ手形割引ノ歩合政府發行ノ手形ヲ割引スル金額公債證書等ニ對シ貸與スル金額及ヒ公債證書買入ニ充ル金額等ヲ定ムヘシ但此等ノ事件ハ監事集會ノ承諾ヲ經テ施行スル者トス

此集會ハ各局役員一般ノ進退黜陟ヲ議シ其給料身元金等ノ額ヲ定ムヘシ

支店出張所ノ役員中ニ於テ證書類ニ銀行ノ名義ヲ以テ署名捺印セシムル者ハ重役集會ニ於テ之ヲ撰ミ委任狀ヲ與フルモノトス

重役集會ハ約定竝ニ和解等ノ條件ヲ決議スルコトヲ得ト雖モ監事ノ承諾セサル事件ハ實行スルコトヲ許サス

此集會ニ於テハ株主總會ニ差出スヘキ一年間營業ノ報告ヲ整理スヘシ

第五十九條 重役集會ハ半數以上出席ナキ時ハ決議スルヲ得ス

此集會ノ議事ハ多數ヲ以テ決スル者トス若シ可否相半スルトキハ議長之ヲ

決スヘシ

第六十條 重役集會ニ於テハ議事録ヲ作り其決議ノ旨趣竝事務ノ要領ヲ記載シ出席員及文書局長之ニ署名捺印スヘシ

第四節 監事集會

第六十一條 監事ハ銀行諸般ノ業務ヲ監視シ且諸帳簿類ヲ検査スル者トス監事ハ實際報告損益勘定及經費豫算等ヲ調査シ正當ナリト認ムル時ハ之ヲ承認スヘシ但此報告豫算等ハ重役集會ニ於テ調整回付スル者トス

重役集會ニ於テ手形割引ノ歩合ヲ變更シ又ハ政府發行ノ手形ヲ割引スル金額若クハ公債證書其他政府ノ保證ニ係ル諸證券ニ對シ貸與スル金額ヲ増減シ又ハ公債證書買入ノ件ヲ決議シタル時ハ監事集會ノ承認ヲ受クヘキ者トス然レトモ事情至急ヲ要スル時ハ手形割引ノ歩合ニ限り重役集會ノ決議ノミヲ以テ増減スルヲ得ヘシ但此場合ニ於テハ必ス五日以内ニ監事集會ノ承認ヲ受クヘシ

第六十二條 監事集會ハ少クトモ毎月一回宛開會スヘシ若シ二人以上缺席ス

二五

ル時ハ決議ヲ取ルコトヲ得ス
 議事ハ多數ヲ以テ決スヘシ若シ可否ノ數相半スル時ハ銀行總會ニ於テ決定
 スヘシ

若シ二人以上ノ缺席アリテ決議ヲ取ルコト能ハサル時ハ至急ヲ要スル事件
 ニ限り銀行總會ニ於テ決議スルヲ得ヘシ

第六十三條 第三十六條第三項ニ定メタル監事ノ配當金ハ半額ヲ人員ニ均分
 シ半額ハ出席數ニ應シテ配當スル者トス

第五節 銀行總會

第六十四條 總裁副總裁理事監事ノ集會ヲ名ケテ銀行總會ト云フ

第六十五條 銀行總會ハ少クトモ毎月一回宛開會シ營業上ノ得失ヲ商議スル
 モノトス

此總會ハ定款内規ニ依リ其職務ニ屬スル諸件ヲ決議スルモノトス

此總會ハ利益金ノ分配及ヒ賞與ノ金額ヲ決議スヘシ

此總會ハ保護預リノ約束及ヒ手續等ヲ決議スヘシ

此總會ハ重役集會ノ起案シタル銀行内規並支店出張所等ノ規則ヲ決議スヘ
 シ

此總會ハ支店出張所廢置ノ件ヲ決議スヘシ

以上四項ノ事件ハ總テ大藏卿ノ許可ヲ經ルニ非サレハ施行スルヲ得ス

第六十六條 第六十二條第三項ノ場合ヲ除クノ外重役監事共ニ過半數ノ出席
 アルニ非サレハ決議ヲ取ルヲ得ス

議事ハ多數ヲ以テ決スル者トス但可否ノ數相半スル時ハ議長之ヲ決スヘシ

第六節 割引委員

第六十七條 割引委員ハ少クトモ三名以上タルヘシ其委員ハ銀行總會ニ於テ
 撰定シ出席日數ニ應シテ手當金ヲ付與スヘシ

此委員ハ監事中ヨリ兼任スルヲ得ヘシ

此委員ハ毎年總員ノ半數ヲ更代スル者トス但之ヲ再撰スルヲ得ヘシ

第六十八條 割引委員ハ理事一名ヲ以テ之カ長トナスヘシ但委員出席ノ時日
 ハ内規ヲ以テ定ムルモノトス

此委員ハ諸手形ノ検査ヲ遂ケ之カ割引ヲ許スヘシト認定スル時ハ其趣ヲ銀行重役ニ申立ツヘシ

第六章 監理官

第六十九條 監理官ハ大藏卿ノ命ヲ受ケ銀行一般ノ事務ヲ監理シ殊ニ銀行券發行、内外手形割引等ノ事務ヲ監視スル者トス

第七十條 監理官ハ何時タリトモ銀行事務一切ノ狀況ヲ質問シ且帳簿若クハ金庫等ノ検査ヲ爲スノ權ヲ有ス

監理官ヨリ銀行事務ノ一覽表ヲ要スル時ハ銀行重役ニ於テ之ヲ調整シ檢印ヲ捺シテ差出スヘシ

第七十一條 監理官ハ重役集會、監事集會、銀行總會、割引委員席、株主總會等ニ臨席シ意見ヲ陳述スルヲ得ヘシ但可否ノ數ニ加ハルヲ得ス

第七章 株主總會

第七十二條 株主總會ハ株主總體ノ權利ヲ表スル者トス

條例規則ニ依リ株主總會ニ於テ決議シタル事件ハ缺席者或ハ異議者ト雖モ

必ス服従スヘキ者トス

第七十三條 株主總會ノ會員タル者ハ會期六十日前ニ於テ十株以上ヲ所有スル者ニ限ルヘシ

會員缺席スル時ハ他ノ會員タルヘキ者ニ代理ヲ付託スルヲ得ヘシ

會社組合又ハ銀行等ニシテ此銀行ノ株主タル者ハ其社員一名ヲ以テ代理セシムルヲ得ヘシ

株主中婦女竝瘋癲白痴及ヒ丁年未滿ノ男子ハ其後見人若クハ他ノ會員タルヘキモノヲ以テ代理セシムヘシ

前三項ニ定メタル代理人タル者ハ必ス委任狀其他ノ書類ヲ持參スルモノトス

第七十四條 會員ハ當日發會前ニ於テ出席名簿ニ署名捺印スヘシ

第七十五條 株主ハ所有株數、十箇ニシテ投票一箇ノ權利ヲ有シ十一株以上ハ五十株毎ニ一箇ヲ増加スル者トス又幾人ヨリ代理委任ヲ受クルモ其代理ニ屬スルノ權利ハ十箇以上ヲ有スルヲ得ス但帝室政府及會社銀行等ノ代理タ

ル者ハ此限ニアラス

第七十六條 定式株主總會ハ毎年二月八月第三ノ土曜日ニ於テ開場スヘシ此定式總會ニ於テ第三十四條ニ掲ケタル前半季實際報告ノ可否ヲ決議スヘシ二月ノ株主總會ニ於テハ銀行重役ヨリ前年度ノ十二月三十一日迄ノ營業報告ヲ差出スヘシ

八月ノ株主總會ニ於テハ其年末ニ滿期退職スヘキ理事及監事ノ後任ヲ撰舉スヘシ

二月八月ノ兩度ノ株主總會ニ於テハ職員中死去或ハ退職者ノ補缺撰舉ヲ爲スヘシ

第七十七條 大藏卿若クハ重役集會ニ於テ必要ナリト思考スル時ハ何時ニテモ臨時株主總會ヲ開クヲ得ヘシ

監事集會ヨリ請求スルカ又ハ株主總會員タル者五十名以上ヨリ請求アル時ハ何時ニテモ臨時株主總會ヲ開クヲ得ヘシ

第七十八條 株主總會ヲ開ク時ハ定式臨時ヲ問ハス三十日前ニ招集狀ヲ各會

員ヘ送致シ且新聞紙ヲ以テ其旨ヲ廣告スヘシ

若シ銀行總會ニ於テ緊要ナル事件ト認メ至急ニ株主總會ヲ開カント欲スル時ハ此招集期限ヲ十五日マテニ短縮スルヲ得ヘシ

第七十九條 右招集狀ニハ其討議ニ付スヘキ事件ヲ明示スヘシ

第八十條 總裁副總裁理事監事ヲ除キ當日出席會員中所有株券ノ最モ多數ナル者二名ヲ撰ミ以テ總會ノ幹事トナスヘシ但當撰ノ者之ヲ辭スル時ハ順次次數ノ者ヲ以テ之ニ充ツヘシ

幹事ハ總裁副總裁理事ト共ニ當日會場ノ議事録ニ署名捺印スヘシ

第八十一條 株主總會ニ於テハ招集狀ニ記載セシ事件ヲ討議スヘシ但其議案ハ重役集會又ハ監事集會ヨリ回付スル者トス

若シ會員十名以上ノ連署ヲ以テ會期十日前ニ重役集會ニ他ノ議案ヲ差出シタルトキハ之ヲ當日ノ議題ト爲スヲ得ヘシ

株主總會ノ議事ハ議題外ノ事件竝人ノ毀譽褒貶ニ涉ルヲ許サス

招集狀ニ記載セサル事件ト雖モ重役集會ヨリ臨時回付シタル議案ニシテ會

場ニ於テ緊要ナリト認ムル者ハ當日ノ討議ニ付スルヲ得

第八十二條 議事ハ投票權利ノ多數ヲ以テ決スヘシ若シ可否相半スル時ハ議長之ヲ決スヘシ

第八十三條 第四十五條ニ記載スル理事ノ候補ヲ撰擧スルニ投票過半數ヲ得ルモノナキトキハ其最モ多數ナルモノヨリ右候補ニ二倍スル人員ヲ定メ之ニ就テ再ヒ投票ヲ爲スヘシ若シ投票同數ナルトキハ年長ヲ以テ定ムヘシ
監事撰擧ニ於テ投票過半數ヲ得ルモノナキトキモ亦前項ノ例ニ準ス

第八十四條 任期中理事監事ヲ罷ムル時ハ株主總會出席員四分ノ三以上ニシテ總株半數以上ヲ所有スル者ノ同意アルニ非サレハ之ヲ決定スルヲ得ス但理事ヲ罷ムル時ハ大藏卿ノ許可ヲ受クヘシ

第八章 總 則

第八十五條 此定款ヲ改正スル時ハ特別ニ株主總會ヲ開キ之ヲ決議スル者トス

但其改正スヘキ條件ハ之ヲ會員招集狀ニ記載スヘシ

右株主總會ハ出席員所有ノ株數總株數ノ五分ノ三ニ滿ツルニ非サレハ其事件ヲ決議スルヲ得ス

此總會ノ議事ハ出席員投票箇數三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニ非サレハ決議スルヲ得ス

此總會ニ於テ決議シタル事件ハ政府ノ許可ヲ經ルニ非サレハ施行スルヲ得ス

第八十六條 政府ハ日本銀行諸般ノ業務ヲ監督シ其營業上條例定款ニ牴觸スル事件ハ勿論政府ニ於テ不利ト認ムル事件ハ之ヲ制止スヘシ

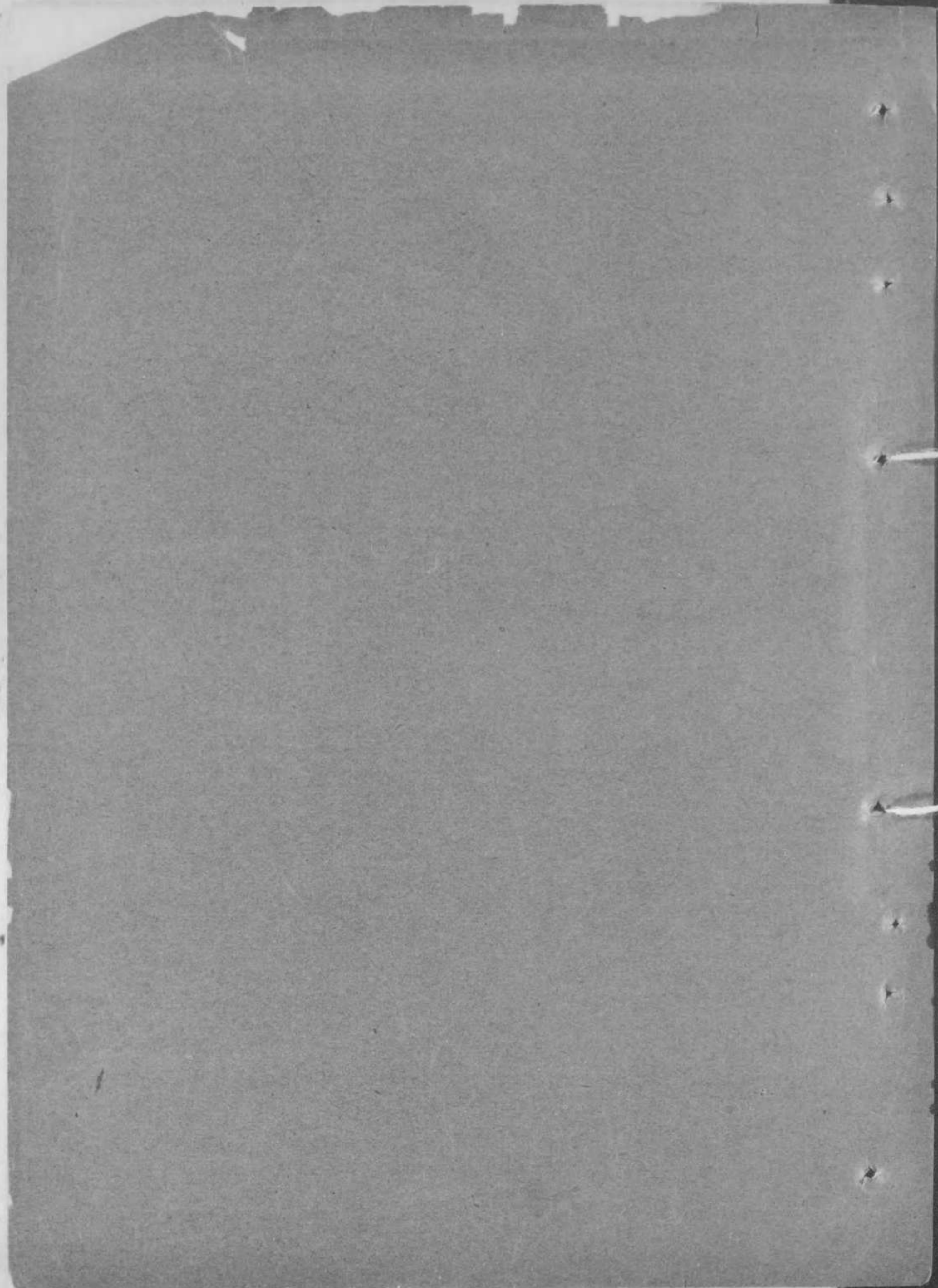
第八十七條 政府ノ都合ニヨリ要用ナリトスル時ハ何時ニテモ此定款ヲ改正増削スルノ權アルヘシ

第八十八條 兌換銀行券條例第二條第一項ニ據リ發行準備ニ充ツル地金銀ハ舊金銀貨ヲ除クノ外ハ造幣相當以上ノ品位ヲ有スルモノニ限り同第二項保證ニ充ツル證券ハ各種政府借入金證書政府ノ保證ニ係ル證券ニ限り商業手形ハ正式ノ爲換手形約束手形ニ限ルヘシ

第八十九條 兌換銀行券條例第二條第一項地金銀ノ準備價格同第二項公債證券大藏省證券其他ノ保證價格ハ重役集會ニ於テ決議シ大藏大臣ノ許可ヲ受クヘシ

第九十條 兌換銀行券條例第二條第三項ニ據リ兌換銀行券ノ増發ヲ爲サントスルトキハ其時ノ商況ヲ具申シテ大藏大臣ノ許可ヲ請フヘシ

第九十一條 兌換銀行券發行高交換高及準備ノ増減ニ關スル出納日表竝每週平均高表ヲ製シ出納日表ハ翌日午前十時マテ每週平均高表ハ次週水曜日マテニ大藏大臣へ進達シ而シテ每週平均高表ハ同日刊行ノ官報へ掲載スヘシ



0000 0264